

社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院

病院の概要

開設時期：昭和8年
開設者：社会医療法人蘇西厚生会 理事長 松波 英寿
院長名：松波和寿
病床数：501床
標榜科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、リウマチ科、小児科、皮膚科、麻酔科、精神科、救急科、歯科口腔外科

医師数：160名
指導医師数：61名（臨床研修指導医講習会修了者数）
外来患者数：約487名／日（まつなみ健康増進クリニックと合計して約882名／日）
入院患者数：423名／日
所在地：羽島郡笠松町田代185-1
URL：http://www.matsunami-hsp.or.jp/recruit/doctor/



病院の特徴

愛知県と川を挟んだ岐阜県南部に位置して名古屋駅までは最寄り駅から30分の距離です。病床数は501床で地域の急性期医療から慢性期医療までを担っております。当院はノースウイング（北館）、サウスウイング（南館）から成り立ち、ノースウイングの病床機能としては、一般病床に加え、手術室8室（内1室はハイブリッド手術室）、ICU8床、HCU20床などの高度急性期医療にも対応出来る施設や、ダウインチXをはじめとする最新鋭の医療機器、ヘリポートを整備しています。通常の高度な医療のみならず、救急医療や災害医療にも迅速に対応できる体制を確立しています。サウスウイングは、比較的長期の医療を担う一般病棟、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、障がい者病棟を有し、急性期以後の医療、外来機能としては、人工透析センター、ペインクリニックなどを提供しています。

院長メッセージ



松波和寿

当院は岐阜市の南部に近接し、病床数501床、診療科30科を有する地域中核病院です。フットワークの良い安全で効率的な医療をモットーとし、種々の急性期医療を重点的に担っており、年間手術約3,944件、救急車搬送患者約3,200件の実績があります。各分野の専門医を数多く有し、新専門医制度では、内科、産婦人科、麻酔科、総合診療においては基幹施設となり、Subspecialty学会（日本消化器学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会等）、多領域横断的関連学会（日本超音波医学会、集中治療学会等）等の約40医学会の専門医研修指定病院となっております。平成16年から厚生省（当時）の卒後臨床研修病院であり、これまで全国から多くの研修医を受け入れてきました。また、平成20年3月から卒後臨床研修評価機構の基準を満たした研修病院として認定されています。2018年2月に最高評価のエクセレント賞を岐阜県内初受賞。2023年の更新調査時にも続けてエクセレント賞を受賞しました。臨床研修医にとってはプライマリ・ケアから専門医療まで十分満足のいく研修体制をとっている病院であると自負しております。是非当院での卒後臨床研修を受けてみてください。

指導医メッセージ

初期研修は、その医師の生涯にわたる診療姿勢を決定する上で重要です。患者とその家族に全人的な対応ができる医師となるために、自分は何をしたらいいのかを、毎日の多忙な日々の中から見つけていただきたい。医療にはさまざまな問題が山積みされています。最先端医療も大切ですし、末期医療、療養医療も大切です。医学部在籍中には、十分経験することができなかった多くの切実な問題に直接ぶつかり、現在の医療に対する問題点を十分考えていただきたい。「走りながら考える」、まさしくこの言葉通りに臨床研修を意義あるものにしていただきたいと願っています。

当院の臨床研修の特徴は、501床の急性期病院で常勤医160名、うち指導医61名の構成でありながら、研修医定員が各学年12名と少なく屋根瓦方式やマンツーマンによる研修が行えることです。地域完結型医療をめざし、地域連携医と一緒に地域診療ネットワークをつくり、連携パスのもと、急性期医療、介護医療を行っています。当院での初期研修システムもこのなかに組み込まれ、現実に即したプライマリケアができる医師の養成をめざしています。

研修医メッセージ

当院での研修の魅力の一つとして、充実かつ自由度の高い研修プログラムがあります。1年次ではさまざまな研修が出来ます。2年次は比較的自由な選択が出来るため、後期研修を見据えたスケジュールを立てることも可能です。少人数の研修医であるため手厚い指導を受けられます。さらに、医局と研修医室が一体であり、休憩時間にも先生方と気軽に話し合うことも出来ます。

また、毎週火曜～金曜の早朝に研修医のための朝カンファレンスがあるのも当院の魅力です。症例プレゼンや論文発表を研修医が行い、先生方からアドバイスをいただけます。

私は当院で研修して1年経ちますが、素晴らしい研修を受けていると実感しています。そんな研修を受けてみたいと感じたあなた、気軽に病院見学にお越し下さい！

研修スケジュール

	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
1年次	選択必修		内科					救急	麻酔	外科	産婦		
2年次	内科	産婦	小児	地域	救急	自由選択							

※1クール4週間

※3クール目から、内科、小児科、地域ローテート時に一般外来研修実施

研修協力病院・施設

岐阜南病院

鷺見病院

総合在宅医療クリニック

郡上市民病院

岐阜県総合医療センター

県北西部地域医療センター国保高鷲診療所

高山市国民健康保険荘川診療所

岐阜病院

まつなみ健康増進クリニック

松波総合病院介護老人保健施設

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

県北西部地域医療センター国保和良診療所

県北西部地域医療センター国保白鳥病院

県北西部地域医療センター白川村国民健康保険白川診療所

美濃病院

後期研修・専門研修（予定）

内科・産婦人科・麻酔科、総合診療プログラムで基幹施設となっているので、初期研修に引き続いて研修可能。その他診療科においては、各大学病院プログラムの連携施設となっているので初期研修に引き続いて当院で1年間研修可能。

現在20名の専攻医が在籍しています。1～2学年上の医師が多く相談しやすく、活気があり初期研修後の目標となります。

内科	外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	麻酔科	病理	放射線	小児科	産婦人科
○	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	○
泌尿器	救急	耳鼻咽喉科	総合診療科	眼科					
▲	▲	▲	○	▲					

○：基幹施設 ▲：連携施設

研修プログラムの目標

プライマリ・ケアを最重点にローテート方式により、各科にわたる基礎的な診療についての知識と、技術応用力及び医師（職業人）としての態度を身につける。

研修プログラムの特徴

当院は二次救急を主体とした救急医療や、総合内科を中心としたプライマリ・ケア、外科では手術支援ロボットなど最新の技術を学べます。

選択で8クール選べて、一人一人に合わせた研修が可能です。

募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：12名

身分：常勤

給与：551,666円/月（1年次）・595,000円/月（2年次）、（賞与1年次810,000円、2年時1,080,000円）、当直（平日・土曜日1回/週）、日直（日曜日：各1回/月）

住居等：単身用あり、住宅手当あり（要相談）

保険等：政府管掌健康保険、厚生年金、労災保険適用

連絡先

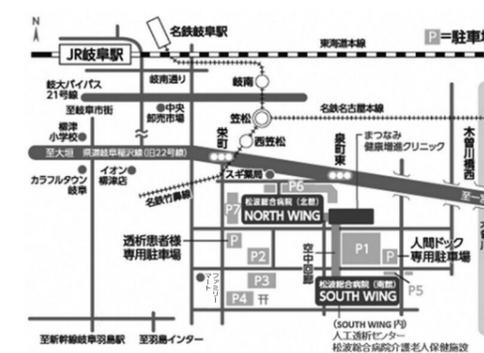
担当者：臨床研修医室 林 幸太郎（ハヤシ コウタロウ）

電話番号：058-388-0111

f a x：058-388-4711

E - m a i l：kotarohayashi1115@gmail.com

交通案内



名鉄名古屋本線 笠松駅から徒歩約15分、車で約5分